

理 由 書

現在稼働している東金市外三市町清掃組合環境クリーンセンターは、平成10年4月からごみ焼却施設（処理能力210t/日、灰溶融炉（処理能力26t/日）を併設）及び粗大ごみ処理施設（処理能力10t/5h）の供用を開始しており、施設及び設備の老朽化が進んでいることに加え、ごみ質の変化に対応した衛生処理の確保に迫られていることから、処理技術の進歩等に伴う経済性及び安全性に優れた処理システムを導入した新たな施設整備の必要性が生じている。

こうした中、新しい施設での処理区域となる東金市、大網白里市、九十九里町の「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」において、「ごみ処理施設については、資源の有限性とごみの効率的な処理という観点から、ごみの減量化、再資源化を積極的に取り組むとともに、東金市、大網白里市、九十九里町を処理対象地域とした、ごみ処理施設の整備を図る。」と位置づけを行った。

これらを踏まえ、東金市、大網白里市、九十九里町及び山武市を構成団体とする東金市外三市町清掃組合（以下、「組合」という。）は、施設整備の基本方針、導入する主要設備の処理技術、基本仕様、生活環境保全対策、事業方式等について災害時の施設安定稼働等も踏まえ、検討・整理を行い、平成27年3月に施設整備基本構想を策定した。

次いで、新ごみ処理施設の建設候補地を選定するため、用地の公募を行ったうえで、用地選定の公平性・客観性を確保することなどを目的に設置した「東金市外三市町清掃組合新ごみ処理施設用地検討委員会」による検討を経て、平成29年7月に東金市上武射田地先の候補地を選定した。令和2年7月29日には、組合が東金市上武射田地先の当該区である「上武射田区」及び周辺区である「下武射田区」、「高島区」と、『新ごみ処理施設の建設及び運営に関する地元関係区協定書』を締結し、東金市上武射田地先建設候補地が、正式に新ごみ処理施設の建設予定地となった。

また、現施設では東金市、大網白里市、九十九里町及び山武市（旧成東町分）をごみの収集区域としていたが、新施設整備では東金市・大網白里市・九十九里町を収集区域とすることとなった。

以上の経緯を踏まえ、ごみの安定した衛生処理を確保するとともに、あわせて循環型社会の形成に寄与し、効率の高いエネルギー回収、災害等に対する強靱化、環境学習拠点としての役割などの付加価値を創出することを目的とした、エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設を整備することとし、東金都市計画に「第2号環境クリーンセンター」を追加するものである。